

The 2017 Japan-NIH joint symposium 参加報告

D1 長井広樹

2/15～2/17に東北大学星陵会館にて開催された The 2017 Japan-NIH joint symposium にてポスター発表をさせていただきました。英語でのポスター発表は初の体験であり、準備段階から日本語と英語のギャップに悪戦苦闘しました。特に、日本語では正しく感じる論理展開でも、それをそのまま英語にすると全く意味不明な文章になってしまうことに頭を悩ませました。本番では、研究の説明は事前に何度も練習したため何とかこなすことができましたが、質疑応答になると途端に言いたいことが上手く表現できなくなっていました。「英語を話せるようになるためには、とにかく経験を積むしかない」と NIH から来られた日本人研究者の方が言うておられましたが、全くその通りです。付け焼き刃の英語力では咄嗟に言葉が出てこないのです。これまで英語をインプットする訓練ばかりしてきたことを後悔しました。今後は積極的に英語での発信能力を磨いていきたいと強く感じた3日間でした。

そんなダメダメな英語力ではありましたが、研究の内容や、あるいは必死に自分の考えを伝えようとしたことを評価していただけたのか、有り難くもポスター賞をいただくことができました。まさか自分が受賞することはないだろうと思っていただけに、今年度で最も驚嘆した知らせとなりました。この驚きと喜びを糧に、研究者としてより一層成長できるよう、今後も努力して参ります。

最後になりましたが、このような機会をいただけたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

